

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 23 日 作成

事務事業名		交通指導員設置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	3	交通安全対策の推進		所属課	総務課	担当者名	長島 正和
	基本事業	9	交通事故防止対策の推進		所属班	交通防災班	(内線)	1225
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 8 コスト削減優先度評価結果 : 6	
	1	2	1	3	10041	道路交通法、交通指導員設置規則		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S54 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、毎月1、10、20日の安全安心の日の街頭指導及び市主催行事等へ派遣する事業。 交通指導員会議の開催。交通指導員法令等講習会への参加。 市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、設置した。 人口や車両の増加に伴い事故件数も増加しているため、指導員の必要性も大きくなっている現状がある。 指導員の高齢化が進む等、退任者が出てきており、その後の補充、後継者の確保が必要である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	指導員の選出、委嘱状の交付、法定講習会へ派遣、研修計画、費用弁償・報酬の支払
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)、需用費(消耗品費)、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	市民から、地域行事で、指導員の要請が出来ないかと相談があっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
毎月3回の通学路を中心とした街頭指導。 市主催行事等での交通指導(8回)。交通指導員会議の開催(1回)。交通指導員法令等講習会への参加(6人)。	21年度と同じ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 指導員の出場行事数	件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民	⇒ア 市民 人 ⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
市民の交通安全を確保する。	⇒ア 市民が交通事故第一当事者となった人数 人 ⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 交通指導員の街頭指導、啓発活動により、交通事故の未然防止につなげる。 22年度の目標値は、交通事故当事者減少を目標に設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 件	49	41	41	44	41	41	41	
	イ	24	21	23	21	21	21	21	
⑤ 対象指標	ア 人	54,027	54,407	55,124	54,856	55,732	56,281	56,829	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人	364	334	330	316	300	290	280	
	イ								
投資入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,862	1,506	1,892	1,666	1,605	1,605	1,605
	(A) 事業費計	千円	1,862	1,506	1,892	1,666	1,605	1,605	1,605
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	130	190	190	190	190	190	190
	(B)人件費計	千円	516	760	756	756	756	756	756
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,378	2,266	2,648	2,422	2,361	2,361	2,361

総トータルコスト	全体計画
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

事務事業名	交通指導員設置事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	交通安全街頭指導等により、目標を達成した。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	交通指導員による街頭指導の継続により、運転者のマナーの向上に取り組むことで、交通事故発生件数減少の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	指導員の研修等を行い、指導員の資質の向上を図ることで、街頭指導を通して交通事故発生を抑制できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	指導員の専門的な交通関係の知識を必要とするため、統廃合できない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	交通指導員の報酬は近隣町村とほぼ同額で削減余地はない。指導員の出勤手当も15回分打ち切りとしており、削減できない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	交通指導員運営のための業務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	全市民を対象とした交通指導、市内全域での街頭指導を行っており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	交通安全は、市が主体的に取り組む必要がある。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

交通指導員の設置により、交通安全の指導啓発を継続して行うことができ、交通事故発生件数を減少させることができる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>市民を交通事故から守るため、必要な事業であり継続していく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>県の研修のみでなく、警察や関係団体と連携し、より高度な技術、知識を得られるよう、研修等に工夫をする。</p>
--